



学校だより

福島県立郡山支援学校
令和4年9月30日
令和4年度 第2号

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

学校教育目標

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

主体的に生きる児童生徒

・学びの連続性を意識した授業づくり

小学部 図画工作



「絵の具でゆめもよう」

身近な材料や用具を使って、いろいろな表し方を試しながら、形や色、模様を生かし工夫して、絵に表しました。

中学部 美術



「名画の模写」

材料や用具、色を選択して細かい部分の色の違いを意識しながら、丁寧に作品を作りました。

高等部 美術



「絵文字のデザイン」

材料や用具の特徴を活かして構成を創意工夫し、自分のイメージを表現しました。

・自立活動の視点を大切に授業づくり

小学部

できる動き「握って放す」を活かして、ボールつきのタンバリンを鳴らしました。音楽のフレーズの終わりに、タイミングよく手を放して音を出し演奏することができました。



中学部

教材の背景を黒にしたり角度をつけたりすることで見えやすくなり、自分から背筋を伸ばし手を出して操作したり、集中して取り組んだりすることができました。



高等部

学習で取り上げた食物や植物について、見たり聞いたりするだけでなく、直接触ったり味わったりにおいがかいだりすることで、その特徴を捉えました。



心豊かに生きる児童生徒

・挨拶、モラルを中心としたマナーアップ指導

「あいさつ週間」では、学部ごとに工夫を凝らし、昇降口や廊下であいさつ運動を行い、あいさつの良さや大切さを伝えることができました。

「情報モラル教室」では、郡山北警察署生活安全課の方を講師にお招きし、SNS使用に伴う犯罪や、トラブルに巻き込まれないための方法、対処法について具体的に学ぶことができました。



・安心安全な環境の整備と防災教育

夏季休業を利用し、本校職員を対象とした防災研修を実施しました。福島地方気象台より講師をお招きし、地震や津波がもたらす災害や、気象台が発表する地震や津波の防災情報の種類とその利用方法について学びました。専門的な見地による助言を受けたことで、地震や津波のメカニズムが分かったり、緊急地震速報を見聞きした後、短時間で慌てずに身を守る大切さを学んだりすることができ、防災へのスキルアップにつなげることができました。



・地域と連携した地域資源の有効活用 ～中学部類型II「総合的な学習の時間」～

三春デコ屋敷「橋本広司民芸」様の御協力を得て、昨年度は張り子体験を、今年度は三春デコ屋敷見学を行いました。地域の方々が培い受け継いできた伝統文化の長い歴史を肌で感じるすることができました。



健やかに生きる児童生徒

・生活習慣を見直し心と体を大切に保健指導

・保健指導

衛生週間では、清潔検査や手洗い指導を行いました。手をこするとピンク色の泡が白色に変化するハンドソープを使ったところ、色が変わる様子を見ながらしっかりと手を洗う姿が見られました。



・「保健」の授業

様々な感染症(性感染症を含む)の種類や特徴、予防方法についての授業を行いました。「感染源をなくす」「感染経路を断つ」「体の抵抗力を高める」ことについて具体的な取り組み(指導)を行い、現在流行している新型コロナウイルス感染症の対策とも関連付けられるように工夫しました。



・寄宿舎の保健指導

規則正しい生活を送ることができるよう「生活日課表」を掲示し、生徒一人一人が意識して、日常生活を送ることができるようにしています。



お知らせ

本校の取り組みをホームページに随時アップしています。ぜひご覧ください!!